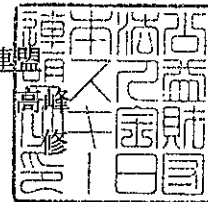


加盟団体
アルペン競技担当者各位

公益財団法人全日本スキー連盟
アルペン部長
ルール・公認・施設小委員会委員長

岩谷
児玉



2015/2016 シーズンアルペンマテリアルルール変更について（再通知）

日頃より、競技本部の活動に対してご尽力をいただき心からお礼申し上げます。
さて、標記について 5 月 24 日の平成 27 年度春季アルペン部技術・運営委員会において
審議され決定いたしました「2015/2016 シーズンマテリアルルール変更について」5 月 29 日に
SAJ27 競第 715 号にて通知いたしました。内容の一部修正があったため取り下げをいたしました、
再度修正したものを通知いたしますので下記についてご確認の程何卒宜しくお願い致します。

記

1. ヘルメットについて

2014-2015 シーズンは SAJ、A 級・B 級大会（チルドレンカテゴリーは除く）においては新規格ヘルメットの着用は推奨となっておりましたが、2015-2016 シーズンより着用が義務づけとなります。（※FIS レースは、2014-2015 シーズンから義務づけとなっています。）

※新しい規格のヘルメットとは、FIS 新規格に対応し FIS 対応ステッカーなどにより明示されているもの。

※このヘルメットルールは、DH・SG・GS 競技に適應されます。

2. U16、U14 の競技スキーについて

2015-2016 シーズンの U14/U16 の競技スキールールに関しては下記のようになります。

①U14 の SG 及び GS 種目の競技スキーについて、2015-2016 シーズンは「推奨」となります。

②U16 の SG 種目は「推奨」となりますが、GS 種目の競技スキーについては「FIS ルール通り義務づけ」となります。

※別表「2015/2016 シーズン スキー用具に係る国内運用ルールについて」参照

※5 月 29 日通 SAJ27 競第 715 号からの修正点 別表「2015/2016 シーズン スキー用具に関わる国内ルールについて」参照

修正前 U14GS ⇒最大スキー長 188cm ラディウス $R \geq 17$

■スキー長・ラディウス共に義務づけ

修正後 U14GS ⇒最大スキー長 188cm ラディウス $R \geq 17$

■スキー長・ラディウス共に 15-16 シーズンは推奨

2015/2016シーズン スキー用具に係る国内運用ルールについて

SAJ競技本報 フェルベント技術運営委員会決定事項

種目	DH		SG				GS		SL						
	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子							
1.2.1.22 ビーチバグより前方部分の最大寸幅	≤95mm	≤95mm	≤95mm	≤95mm	≤103mm	≤98mm	≤98mm	≤98mm	≤63mm						
1.2.1.21 ビーチバグ下部分の最も短い部分の幅	≤65mm	≤65mm	≤65mm	≤65mm	≤65mm	≤65mm	≤65mm	≤65mm	≤63mm						
カテゴリー/大会	◎スキー長は最短の長さ CM(センチメートル) ※U14/U16 GSは最大スキー長 ◎ラジアルス(R) 最小値 M(メートル)														
	スキー長	ラジアルス	スキー長	ラジアルス	スキー長	ラジアルス	スキー長	ラジアルス	スキー長	ラジアルス					
G00	210	50	218	50	205	40	210	45	188	30	185	35	155	165	
FIS/NC	205	50	213	50	200	40	205	45	183	30	180	35	155	165 ※1	
SAJ-A級	全日本スキー選手権				200	40	205	45	183	30	190	35	155	165 ※1	
	インカレ 学生スキー連盟				200	40	205	45	183	30	190	35	155	165 ※1	
SAJ-B級 (フェルベント2は除く)	全選手権連盟 (中学生・高校生・大学生を含む)	205	50	213	50	200	40	205	45	183	30	190	35	155	165 ※1
	フェルベントス (SAJ-B級) 全国中学 ジュニアオリンピック 全日本ジュニア選手権SG (中学生の部)														
	U14(14歳未満)														
	U16(16歳未満)														
スキー高	※1 : U18(1年目・1999年生れ)SLにおいては、-10cmの許容差を認める ※ : スキー長は(+13cm)の許容範囲が定められる														
スキー板+プレート+ビンディング	50mm 全種目、全カテゴリー、男女共通														
ブーツ高	43mm 全種目、全カテゴリー、男女共通														
ヘルメット	FISルールは14-15シーズンより、SAJ-A級大会・日級大会(フェルベントカテゴリーは除く)は、15-16シーズンより新規格のヘルメット着用を義務付けとする。 新規格ヘルメットには、新規格対応表示(FIS新規格対応ステッカーなど)が明示されていないといけない。新規格ヘルメットルールはDH、SG、GS競技に適用される。														

※ 本書はラジアルスによる広さを採ります。

FIS競技用品ルールの抜粋

1.2.1.1	スキーの長さ(最長) ★最長とは最も短い長さを言う ※ DH/SG/GS:FISレースのみ-5cm許容差を認める。 ※ SL:男子U18(ジュニア1)においては、FISレースにおいてのみ、-10cmの許容差を認める。	ワールドカップ	W C	FIS			
		ヨーロッパカップ	E C				
		コンチネンタルカップ	COC				
		世界ジュニア選手権	WJC				
		五輪冬季大会	OWG				
		世界選手権	WSC				
		滑降	DH		女子	210	205
		滑降	DH		男子	218	213
		スーパーG	SG		女子	205	200
		スーパーG	SG		男子	210	205
大回転	GS	女子	188	183			
大回転	GS	男子	195	190			
回転	SL	女子	155	155			
回転	SL	男子	165	165			
U-18男子(1999年生)-10cm許容差を認める。↑							
1.2.1.2.1	ビンディング下部分のスキーの幅 いわゆるブーツセンター位置など、スキーの幅の最も狭い部分の値	滑降	DH	女子	65mm以下		
		滑降	DH	男子	65mm以下		
		スーパーG	SG	女子	65mm以下		
		スーパーG	SG	男子	65mm以下		
		大回転	GS	女子	65mm以下		
		大回転	GS	男子	65mm以下		
		回転	SL	女子	63mm以上		
		回転	SL	男子	63mm以上		
1.2.1.2.2	ビンディングより前方部分のスキーの幅 先端からトゥピースまでの間で最も広い部分の幅長	滑降	DH	女子	95mm以下		
		滑降	DH	男子	95mm以下		
		スーパーG	SG	女子	95mm以下		
		スーパーG	SG	男子	95mm以下		
		大回転	GS	女子	103mm以下		
		大回転	GS	男子	98mm以下		
		回転	SL	女子			
		回転	SL	男子			
1.2.1.2.1	ラディウス(最少弧)	滑降	DH	女子	50 m		
		滑降	DH	男子	50 m		
		スーパーG	SG	女子	40 m		
		スーパーG	SG	男子	45 m		
		大回転	GS	女子	30 m		
		大回転	GS	男子	35 m		
		回転	SL	女子			
		回転	SL	男子			
2.1.2	スキー高 (スキー/プレート/ビンディング)	50 mm 以内					
3.2	スキーブーツ ブーツ底面からヒールのベースまでの間 (すべてのパーツを含んだ高さ)	43 mm 以内					